

15 「コスト削減奨励制度 -改革は現場から-」の成果

平成18年度予算の執行段階におけるコスト削減の取組みとして、29件、3億1,638万円の節減につながる提案がありました。

11月に実施した平成19年度予算編成「主要課題調整」の場で各局から説明を受け、全ての提案に何らかのコスト削減につながる創意工夫及び市民サービスの向上に向けた取組みが認められました。

よって、平成19年度予算編成において、総額で1億627万円の財源を配分し、各現場の担当組織、職員の判断で市民サービス向上のために活用することとしました。

平成19年度局別一覧

(単位:千円)

局	件数	削減額	配分額
合計	29	316,375	106,269
総務局	1	991	496
収入役室	1	772	386
財政局	1	12,578	6,289
市民局	2	4,953	2,076
健康福祉局	1	3,741	1,871
環境局	2	460	230
経済局	3	475	237
建設局	4	13,004	6,444
港湾局	3	7,651	3,825
消防局	1	544	272
教育委員会	1	91,627	45,813
病院局	1	127,086	16,800
水道局	4	43,403	21,530
交通局	4	9,090	-

【取組みの主なもの】

所管局	平成18年度予算執行段階における創意工夫 -コスト削減の取組み-		節減額
	内 容		
財政局	市債の条件決定方法の見直し	市債の発行条件決定について、銀行等引受シンジケート団との協議により、入札手法の導入、選定方法の見直し(コンベンショナル方式の導入)による金利の低減を図った。	12,578
教育委員会	水道料の削減	節水コマの装着及び長期休業中に閉栓するとともに、各小・中学校において節水指導を徹底し、子どもたちの節水に対する意識を高め水道料を削減した。	91,627
病院局	契約内容、契約手法の見直し	同種の業務委託の統合や一般競争入札の導入などにより、契約額を縮減した。	127,086

制度の概要

行財政改革の推進に向けた組織や職員の意識改革と効率的な予算執行を図るために、予算執行段階で、事務執行上の工夫や新たな財源確保により節減できた一般財源の原則1/2の額を、翌年度に節減を実施した担当組織等の判断で使えることとする制度です。

提案の採否については、現場の担当職員等の取組みを重視して、金額の多寡よりも前例踏襲ではない見直しの姿勢を評価することとしています。